



未来のきみを 変える読書術

吉野 一徳/著
筑摩書房 (分類 019)

「なんで大人は『本を読み』って言うんだろう。そんなのSNSでもよくない?」と思っているあなたに。

本を読むと頭の中でどんなことが起こるのか、それが将来の生き方にどうつながるのか。「読書」の効用を知って、あなたも未来を変えてみませんか?



JK、インドで 常識ぶっ壊される

熊谷 はるか/著
河出書房新社 (分類 292)

華のJK(女子高生)ライフを送る予定だった著者は、父親の転勤のため突然インドに引っ越すことに。「カレーの国」だけではない、この国の光と影に接するなかで芽生えた疑問、戸惑い、怒り。「自分にできること」を模索し続ける著者の心の声が、ずんずんと胸に響いてくる滞在記です。



13歳からの地政学

田中 孝幸/著
東洋経済新報社 (分類 312)

ストーリー仕立てでわかりやすい!

アンティークショップの店主「カイゾク」のレッスンを受けることになった高校生の大樹と中学生の杏。7日間、地球儀を見る視点を変えながら、好奇心と想像力を使って世界がどのように動いているのか考えます。興味深いトピックや易しい言葉の対話を通して地政学を学べます。



少年のための 少年法入門

山下 敏雄/監修
旬報社 (分類 327)

私たちはいろいろなルールの中で生活しています。法律は一人ひとりが大切な存在として尊重されるためにあります。少年法は未成年の少年・少女が法を犯してしまった場合に、罰するよりも原因を探り、必要な教育や支援で立ち直りを支え、人権を守るための法律です。少年法について考えてみませんか。



希望、きこえる?

榮谷 明子/著
汐文社 (分類 699)

ユニセフで働く著者の赴任先はルワンダ。ラジオを通じて子どもをはぐむ場を作りたい! そのアイデアは大人も子どもも参加するプロジェクトに。ルワンダで初めての子ども向けラジオ番組「イテテロ」ができるまでが描かれています。

BOOK

BOOK DOOR ~学校司書のおすすめ本~ vol.4

10月27日~11月9日は秋の読書週間です。今年も中学校の学校司書19人が、みなさんにぜひ読んでほしいと思う本を集めました。今まで読んだことのなかった本の扉を開いてみませんか。みなさんの世界がもっと広がりますように。

DOOR



開幕! 世界あたりまえ会議

斗鬼 正一/著
ワニブックス (分類 382)

どんなに寒くても服を着ない!? 石を食べる人がいる!?

わたしにとって「ありえない」ことも、だれかにとっては「あたりまえ」! そんな世界の国や地域のいろんな「あたりまえ」を知る「世界あたりまえ会議」あなたも参加してみませんか?



世界一美味しい 手抜きごはん

はらぺこグリズリー/著
KADOKAWA (分類 596)

この本は写真が豊富で、作る手順も明快なので、眺めているうちに、つい、自分で作ってみたくなる本です。しかも、超簡単なのに、すごく料理ができる人の気分になれます。がっつり系からデザートまで、ぜひ、チャレンジしてください。



こんなにスゴイ! 未来のせかい

増田 まもる/監修
東京書籍 (分類 504)

海に浮かぶ都市や空中を移動する自動車、惑星を繋ぐ階段など、SFやアニメのような世界を、大林組、トヨタ自動車など有名企業が本気で研究・開発しています。写真やイラスト満載で見ている楽しい読み物。ドラえものの誕生する2112年までに、この本の中のどれくらいが実現されているのでしょうか?



カジュアルな 算数・数学の話

鶴崎 修功/著
クラーケンラボ (分類 410)

クイズプレイヤーで、現役の東大院生でもある「鶴ちゃん」が数学を楽しむコツを伝授! 数学の話題を、それぞれ7つの道に例えて学年を超えてわかりやすく解説。一歩ずつ進むと...。あら、不思議! 楽しい数学ワールドが広がります。

20冊目にあなたのイチオシ本を書いて、このブックリストを完成させてください。